

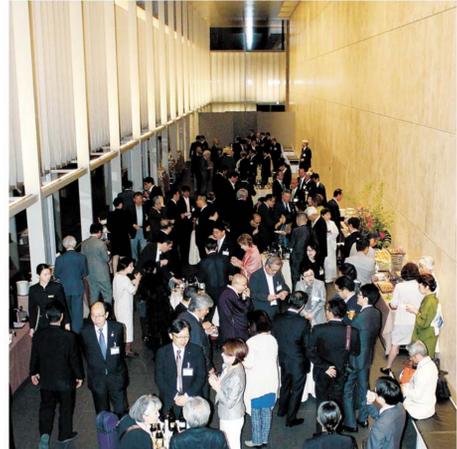
◎こあいさつ  
白石方一  
京都新聞ホールディングス代表取締役社長  
京都文化の素晴らしさを世界に発信



第2次世界大戦後、私たち日本人は復興と経済成長を経て、物質的な豊かさを手に入れました。その反面、他人への思いやりや助け合いの精神、命への尊厳、自然との共生、ものを大切にする習慣など、歴史の中で日本人が培ってきた心や価値観を置き去りにしてきたのではないのでしょうか。

「日本人の忘れもの」は、次世代に伝えていくべき、生活に息づく知恵や工夫などを見直し、発信していくために、京都の各界で活躍される皆さまにご協力いただき、2011年より展開しております。

近年、日本を訪れる外国人旅行者が急増しており、昨年の訪日外国人の数は推計で1300万人を超え、過去最高となりました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、今後さらに訪日外国人客は増えるでしょう。グローバル化や多文化共生社会に向けて、日本人は高度な技術や上質な製品だけではなく、自国文化の素晴らしさを世界に発信することも忘れてはなりません。同会議が、その一助となれば幸いです。



京都国立博物館 平成知新館  
京都に都が置かれた平安時代から江戸時代を中心とした美術品・文化財を約12,500点収蔵。2014年に開館した平成知新館では、陶磁・考古・絵画・彫刻・書跡・染織・金工・漆工などさまざまな分野にわたって展示している。

※平成知新館の講堂やグランドロビー、茶室などの施設有料貸出も可能。また、貸切特別鑑賞会も行っている(特別観覧が必要)。  
●お問い合わせ=京都国立博物館総務課事業推進係  
〒605-0931 京都市東山区茶屋町527 Tel.075-531-7504



**山折哲雄氏** 宗教学者  
やまおり かつお=1931年、米サンフランシスコ生まれ。東北大学大学院文化研究科博士課程修了。東京や宇治市華花寺市で僧つ。元国際日本文化研究センター所長。近年「知恵」を考える「これを語り日本人を戦後せめよ」など。

**山極寿一氏** 京都大 総長  
やまごけい じゅいち=1952年、東京生まれ。慶応義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。京都大学大学院文学研究科教授を経て、2014年より現職。専門は長寿学で、日本と国際の両側学会会長を務めた。著書に「リ化する人間社会」など。

**鈴木順也氏** 日本写真印刷株式会社 代表取締役社長 兼 最高経営責任者  
すずき じゅんや=1964年、京都市生まれ。慶応義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。90年第一勧業銀行(現みずほフィナンシャルグループ)入行。98年日本写真印刷入社。取締役、副社長などを経て2007年より現職。2005年4月より現職。国際、日本学士院賞、フジボト賞、京都市文化功労者など受賞多数。15年5月に京都経済同友会代表理事に就任。

**佐々木丞平氏** 京都国立博物館 館長  
ささき じょうへい=1941年、兵庫県生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。京都府教育委員会技官、文化庁調査官、京都大学大学院文学研究科教授を経て、2005年4月より現職。国際、日本学士院賞、フジボト賞、京都市文化功労者など受賞多数。15年5月に京都経済同友会代表理事に就任。

山折●日本の戦後70年は、焼け跡の貧乏暮らしから始まりましたが、心情的には、それほど暗い生活ではありませんでした。自分から出掛けたい、「出前精神」、何でも自分でつくる「手づくり」、安酒を飲んで仲間と語り、自立した生活を手に入れたのです。その後、日本は経済成長を遂げましたが、今度や高齢化が進み、お年寄りの一人暮らしや孤独死の増加が懸念されています。

山折●「二人」という言葉はネガティブに捉えられがちですが、古くは「万葉集」にも登場する歴史ある価値観です。比較山で修行し、浄土真宗の祖となった親鸞も、「他人事の真実を自分の問題として引き受けたときに、一人で立つ原動力になる」と一人で生る思想を説いています。一人で立つ姿勢があつてこそ、助け合いの精神も生まれるものです。日本の伝統として受け継がれてきた「二人」の本質を、今こそ見直すべきでしょう。

山折●これから私たちが日本人は、どのように考え、現在を取り組むべきでしょうか。山折●今の京都の四条通で歩道拡幅工事が行われています。この政策を施行する際には、おそらくさまざまな議論や多くの方々の協力があったはずですが、ところが、いざ工事が始まると、車道の渋滞など、不満の声があつていると聞きます。

山折●平安時代に書かれた「源氏物語」は、光源氏の正妻である美の上と恋人の六御息所が賀茂祭で牛車を止める場所をめつて、いさかえを起す「車争い」から物語が始まります。四条通の工事問題も大なる物語のスタートになるのではないのでしょうか。不平を言うのではなく、これから私たちが表明したい物語をつつていこうという心構えを持つことも大切です。

山折●人間は動物の言葉を話すことができ、動物も人間の言葉は分かっていますが、向き合っているうちに何らかの理解が生まれ、共存できるようになります。自然と対話する上で大事なことは、きちんと対峙する心を持つことです。

山折●限った話ではなく、異文化交流も同

山折●「文」は「あや」とも読み、縦糸と横糸を織り成した美しい織物を表す言葉です。京都は素晴らしい文化や風土を備えています。佐々木●博物館の使命は、歴史の足跡である文化財を保守・継承しながら、皆さまに見ていただくことです。加えて、文化に興味の薄い人々にも関心を持っていただければ、単なる展示だけでなく、さまざまな試みも考えていかなければならないと実行錯誤しています。

山折●文化の「文」は「あや」とも読み、縦糸と横糸を織り成した美しい織物を表す言葉です。京都は素晴らしい文化や風土を備えています。佐々木●博物館の使命は、歴史の足跡である文化財を保守・継承しながら、皆さまに見ていただくことです。加えて、文化に興味の薄い人々にも関心を持っていただければ、単なる展示だけでなく、さまざまな試みも考えていかなければならないと実行錯誤しています。

山折●文化の「文」は「あや」とも読み、縦糸と横糸を織り成した美しい織物を表す言葉です。京都は素晴らしい文化や風土を備えています。佐々木●博物館の使命は、歴史の足跡である文化財を保守・継承しながら、皆さまに見ていただくことです。加えて、文化に興味の薄い人々にも関心を持っていただければ、単なる展示だけでなく、さまざまな試みも考えていかなければならないと実行錯誤しています。

- 21世紀の道路事情から「源氏物語」の牛車による車争いに思いをはせた山折哲雄さん。千年前の忘れものの提示に、会場はざわめきました。平安京の忘れ形見が並ぶ京都国立博物館で、佐々木丞平さんは文化財へ関心を深めることの大切さを訴え、経営判断は創業時の理念へのまなざしが基準になると、鈴木順也さん、山極寿一さんは、自然観察の手法を異文化との交流につなげようと述べました。知恵会議は、今後それぞれの発想を新しい価値観に結実させていきたいと思います。
- ◎コーディネーター  
内田 孝 京都新聞総合研究所所長
- アサヒビール株式会社 京滋統括支社
  - 石清水八幡宮
  - ウエスティンホテル京都
  - 裏千家 今日庵
  - NTT西日本 京都支店
  - 株式会社 オンリー
  - 柿本商事株式会社
  - 京懐石 美濃 吉
  - 京セラ株式会社
  - 株式会社 京都銀行
  - 京都産業大学
  - 京都中央信用金庫
  - 株式会社 京都東急ホテル
  - 株式会社 京都西川
  - 株式会社 京都ホテル
  - 清水寺
  - キンビールマーケティング株式会社 京滋支社
  - 株式会社 きんでん 京都支店
  - 月桂冠株式会社
  - 佐川印刷株式会社
  - サッポロビール株式会社 京滋支社
  - サントリー 酒類株式会社 京都支店
  - ジーク株式会社
  - 株式会社 進々堂
  - 親友会グループ
  - 御池クリニック
  - 中之島クリニック
  - 四条烏丸クリニック
  - 島原病院
  - 薬師山病院
  - 成基コミュニティグループ
  - 総本山 醍醐寺
  - 学校法人 大和学園
  - タキイ種苗株式会社
  - 武田病院グループ
  - 長楽館
  - 東京海上日動火災保険株式会社
  - 同志社大学
  - 株式会社 トーセ
  - ニチコン株式会社
  - 日本新薬株式会社
  - 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
  - 日本写真印刷株式会社
  - 日本たばこ産業株式会社
  - 野村證券株式会社 京都支店
  - 株式会社 パールトーン
  - 株式会社 福寿園
  - 富士ゼロックス京都株式会社
  - 舞妓の茶本舗
  - 彌榮自動車株式会社
  - 学校法人 立命館
  - ローム株式会社
  - 株式会社 ワコール
  - ワタキューセイモア株式会社

# 日本人の忘れもの 知恵会議

記念交流会  
平成27年5月26日(火)  
京都国立博物館 [平成知新館]  
主催=京都新聞  
「忘」=筆 森清範 清水寺住主

## 提言

●日本人が近代化の中で忘れてきたものを探る「日本人の忘れもの知恵会議」記念交流会(主催=京都新聞)が5月26日(火)、京都を代表する文化人や経営者ら約150人が参加して、京都市東山区の京都国立博物館、平成知新館で開催された。文化、経済、学術、宗教の各界を代表する4名のパネリストが、現代の日本が忘れてきたものは何かを提言。その後、参加者は平成知新館に展示されている国宝、重要文化財を鑑賞し、相互の交流を深めた。コーディネーターは、京都新聞総合研究所所長の内田孝が務めた。

現代の日本人が忘れてしまった大切なものは何でしょうか。佐々木●明治初期に政府が下した神仏分離令(神仏明令)によって、廃仏毀釈と呼ばれる仏教弾圧運動が起りました。現在の国宝や重要文化財になり得る仏像や文化財が各地で壊され、一夜にして100もの寺院が姿を消したと言われていました。追い打ちをかけるように、文明開化によって西洋文明の波が押し寄せ、日本の伝統文化は危機にひんしました。私たちが忘れてはならないことは、文化に対する関心だと考えます。文化があやふやになると国の存在すら危うくなりかねません。現在、あるイタリヤ人がアマガニスタン復興のために博物館をつくらうと努力しており、彼らは「固有の文化が存在するから国が成り立つ」と考え、まず文化から立て直すとしていいます。文化に対する無関心は、国の存在をも揺るがすものであり、ぜひ日本の未来のために、もっと関心を持っていただきたいと願います。

鈴木●企業経営者は常にテクノロジー、経済・社会問題、流行などの最新動向に目を向け、市場環境の変化に適応して行動することが求められます。グローバルスタンダードを意識し、成長に向けて必要な改革を阻むような古い価値観にとらわれぬよう注意を払うことも必要です。一方で、企業は過去から現在・未来へと継続していくものであり、これまでの蓄積が重要な資産となります。技術、お客さま、企業文化、ステークホルダーとのつながりや社会的評価などは一日で築き上げられないもので、長年の積み重ねにより形成されるという認識が大切です。

企業は、過去から蓄積された有形無形の資産の有効性を常に点検することを怠らず、優れたものはしっかりと守り、役割が終わったものは、勇気を持って捨て去らねばなりません。その上で、社内には存在しない能力や資産を社外から取り込むことで新たな価値が形成され、成長が可能になると考えます。企業だ

## こころ、次世代へ

けでなく、京都という都市や社会全体でも、常にまよひを再確認しながら新陳代謝を起すことが必要なのではないでしょうか。山極●私の師匠である生態学者の今西錦司先生(伊谷純一郎先生は、霊長類の研究に当たり、大分県の高崎川でサルの子供に近づいて彼らと一緒に行動しながら、1頭ずつに名前を付けて行動を書き留めていき、名付けられるのは擬人のすぎると、当初は欧米から批判されましたが、サルは仲間の姿や顔を識別して、それぞれに対して違う行動を取っていることが判明し、この方法はジャパニーズ

佐々木氏 文化に対する無関心は 国の存在をも揺るがすもの  
鈴木氏 常によきものを再確認し 新陳代謝を起こすことが必要  
山折氏 自然と対話する心を 失ってはならない  
山折氏 伝統として受け継がれてきた 「二人」の本質を見直す



平成知新館では、国宝から重文などさまざまな分野の美術品・文化財を常設展示。講演後、参加者が見学した

私たちは「日本人の忘れもの 知恵会議」に 参画しています。